

# 中施策評価書

作成日 令和07年 4月 24日

中施策事業名	防犯啓発事業	部課名	市民生活部・防災防犯対策課
		作成者	中野忠之

①めざすまちの姿	03 まちが明るく、地域の防犯活動が活発で、犯罪が少ない
②大施策	明るく、地域の防犯活動が活発で犯罪が少ないまちをつくる
③中施策	市民の防犯意識の向上を図る
④中施策事業の対象	市民
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	防犯意識の向上が図られている
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・防犯の啓発 　・功労者表彰 　・市防犯協会

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
防犯教室の実施回数	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	23	23	23	0	0	0
	実績値	17	29				
単位	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

## ■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費(a+b)			419千円	329千円	
人件費	a 事業費合計		419千円	329千円	333千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計			0千円	0千円	
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			419千円	329千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			6円	5円	

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	<input type="radio"/>	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	<input type="radio"/>	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	<input type="radio"/>	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	<input type="radio"/>	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	<input type="radio"/>	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	<input type="triangle"/>	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	<input type="triangle"/>	B

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	総合評価B 高齢者をターゲットとして頻発した特殊詐欺被害の予防を進めるため、シルバー人材センター、社会福祉協議会、長寿課、愛知警察署等と連携し、特殊詐欺対策、自転車盗対策などのために防犯教室を実施したが、犯罪発生件数は増加傾向にある。
-----------------------------	--

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	振り込め詐欺等特殊詐欺は、高齢者に対する被害ばかりと思われがちであるが、昨今では、いわゆる「トクリュウ」と呼ばれる、若年層が被害者のみならず、加害者へも巻き込まれる事案が発生している。今後、高齢者への啓発はもちろんのこと、これから社会に出ていく高校生等学生向けへの出前講座等による注意喚起を検討する。		
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	既存の防犯教室の引き続きの実施と、市・県教育機関、また、金融機関等民間企業との連携も活用し、幅広い年代に対し、防犯意識の向上、予防能力の向上を図る。		
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等	
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等	
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等	

# 中施策評価書

作成日 令和07年 4月 24日

中施策事業名	自主防犯活動支援事業	部課名	市民生活部・防災防犯対策課
		作成者	中野忠之

①めざすまちの姿	03 まちが明るく、地域の防犯活動が活発で、犯罪が少ない
②大施策	明るく、地域の防犯活動が活発で犯罪が少ないまちをつくる
③中施策	地域の自発的な防犯活動を推進する
④中施策事業の対象	市民
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	積極的に防犯活動を行っている
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・防犯ボランティア ・防犯モデル地区 ・安全ステーション

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況								
自主防犯ボランティア団体数		事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
		目標値	71	71	71	0	0	0
単位 団体		実績値	65	65				
		事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
		目標値	0	0	0	0	0	0
単位		実績値	0	0				

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

## ■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費(a+b)			2,607千円	2,707千円	
人件費	a 事業費合計		2,607千円	2,707千円	2,814千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計			0千円	0千円	
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			2,607千円	2,707千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			38円	39円	

## ■評価

評価項目	内容	評価結果	
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△
	重点をおく指標は妥当でしたか	指標の内容を見直す必要がある	△
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△ B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△ B

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>総合評価B</p> <p>自主防犯団体数は維持できているものの、構成員の高齢化や新規のなり手不足が見受けられる。</p> <p>自主防犯団体活動で使用する物品支給を、隔年支給であったものを、数量は半分であるが毎年支給とすることで、各団体が定期的な物品確保をできるようにした。</p>
-----------------------------	--

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	自主防犯団体設立にあたっての手続き等支援を進め、設立のハードルを引き下げる環境を整える。 なり手不足を解消するため、地域の資源である若年層が、登下校など日常生活をしながら地域の防犯へ参画できるよう関係機関との連携を図る。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	自主防犯活動に必要な物品を調査、提供し、防犯活動への支援を実施する。また、防犯活動の担い手育成についても、市内企業や教育機関等と協力して進めていく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

# 中施策評価書

作成日 令和07年 6月 17日

中施策事業名	防犯対策事業	部課名	市民生活部・防災防犯対策課
		作成者	中野忠之

①めざすまちの姿	03 まちが明るく、地域の防犯活動が活発で、犯罪が少ない
②大施策	明るく、地域の防犯活動が活発で犯罪が少ないまちをつくる
③中施策	明るく死角が少ない街をつくる
④中施策事業の対象	・市民 ・市内で遊ぶ子ども
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市民が安心して生活でき、子どもが外で安全に遊んでいる
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・防犯設備の設置補助　・地域安全監視員　・愛知地区防犯協会連合会

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
防犯灯のLED化補助台数		事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
		目標値	300	100	100	0	0
防犯カメラ設置台数		事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
		目標値	10	10	10	0	0
単位		実績値	14	4			
単位	台						
		事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
		目標値	10	10	10	0	0
		実績値	14	4			
単位		台					

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

## ■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費(a+b)			15,713千円	8,305千円	
人件費	a 事業費合計		15,713千円	8,305千円	13,951千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計			0千円	0千円	
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			15,713千円	8,305千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			228円	121円	

## ■評価

評価項目	内容	評価結果	
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△
	重点をおく指標は妥当でしたか	指標の内容を見直す必要がある	△
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△
		△	B

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>総合評価B</p> <p>防犯灯のLED化率が高い水準にあるため、蛍光灯からLEDへの切替えは鈍化傾向であった。区画整理等に伴う住宅環境の変化に伴う新規防犯灯の設置が進む可能性があるため、状況の注視が必要となる。</p> <p>地域の防犯意識の向上に併せて、防犯カメラ設置に関する相談を受けることもあり、関心を持つ自治会が多い。今後防犯灯に併せ、防犯カメラへの支援強化を進める必要がある。</p> <p>犯罪被害者及びそのご家族への支援体制を強化するため、重層支援センター等関係部局職員の研修会を実施した。</p>
-----------------------------	--

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	各地区の通学路や生活拠点の、どういった場所で犯罪等が多く発生しているのか調査・分析を行い、より効率的な防犯カメラの設置を進められるよう地区への支援を進める。 若年層の目線で、どういった場所へどのような防犯設備を設置することが安心に繋がるのか調査し、防犯設備の設置を進める。 地域の方が日常生活をしながら行う防犯活動、いわゆる「ながら見守り」の支援を実施する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	防犯灯リースが終了し、地区へ防犯灯の返還を実施するため、定期的な更新を促すなど、地区負担の平準化を進める必要がある。 区画整理や商業地の開発、道路整備等により、生活環境が変化していく可能性が高い。住民ニーズの変化に対応した環境整備を進めていく必要がある。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

# 中施策評価書

作成日 令和07年 6月 17日

中施策事業名	交通安全推進事業	部課名	市民生活部・防災防犯対策課
		作成者	中野忠之

①めざすまちの姿	07 道路環境がよく、歩行者も自転車も自動車も安全に通行することができる
②大施策	利用者が安心して通行できる道路環境をつくる
③中施策	交通ルールの理解と遵守を促進する
④中施策事業の対象	市内在住・在勤・在学者
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	交通ルールの遵守
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・交通安全運動 ・交通安全の啓発 ・交通安全施設・規制等の要望

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況								
交通安全教室の開催回数		事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
		目標値	33	33	33	0	0	0
単位回		実績値	18	23				
		事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
		目標値	0	0	0	0	0	0
単位		実績値	0	0				

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

## ■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費(a+b)			10,991千円	12,033千円	
人件費	a 事業費合計		10,991千円	12,033千円	14,547千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計			0千円	0千円	
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			10,991千円	12,033千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			160円	175円	

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	総合評価B  交通安全教室の開催は増加傾向にあり、交通安全意識の向上はみられるが、交通事故発生件数は前年比で約2割の増加であった。 自転車や、モペット等新しいモビリティへの対応を強化する道路交通法の改正があり、市内企業、教育機関等へ周知啓発を実施した。
-----------------------------	---

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	昨年から実施している、公共交通機関と連携した小学生への交通安全教室も含め、交通安全知識を習得できる環境整備や事業を継続して実施する。 今後社会へ出ていく若年層に向け、新しいモビリティの利便性とその危険性について、警察、教育機関と連携し、周知啓発を図る。		
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	区画整理や基幹道路の開通などにより、交通量の変化が起きる可能性がある。時間帯や場所による交通量や交通事故発生傾向を警察等関係機関と共有、分析し、適切な規制や注意喚起を実施していく。		
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等	
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等	
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等	

# 中施策評価書

作成日 令和07年 6月 17日

中施策事業名	自転車対策事業	部課名	市民生活部・防災防犯対策課
		作成者	中野忠之

①めざすまちの姿	07 道路環境がよく、歩行者も自転車も自動車も安全に通行することができる
②大施策	利用者が安心して通行できる道路環境をつくる
③中施策	利用者が安全で安心して通行できるように道路を整備・管理する
④中施策事業の対象	市内を自転車利用する人
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	自転車を放置していない
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・駐輪場の管理・運営 ・自転車駐輪対策 ・放置自転車

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況								
撤去台数		事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
		目標値	450	450	450	0	0	0
		実績値	66	58				
駐輪場の不足台数		事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
		目標値	190	190	190	190	190	0
		実績値	0	0				

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

## ■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費(a+b)			8,008千円	3,200千円	
人 件 費	a 事業費合計		8,008千円	3,200千円	3,464千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計			0千円	0千円	
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			8,008千円	3,200千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			116円	47円	

## ■評価

評価項目	内容	評価結果	
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	<input type="radio"/>
	大施策に貢献していますか	貢献できた	<input type="radio"/>
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	<input type="radio"/>
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	<input type="radio"/>
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	<input type="radio"/>
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	<input type="triangle"/>
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	<input type="triangle"/>

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<b>総合評価 A</b> 公益財団法人自転車駐車場整備センターとの協定締結に基づく駐輪場運営や、自転車等放置禁止区域の設定により、駐輪場不足の解消や、放置自転車の撤去台数の減少を実現できている。 道路交通法の改正に伴う原動機付自転車の規格変更や、その他新しいモビリティが市場へ出回ってくることが想定され、速やかに対応できる体制整備を継続する必要がある。
-----------------------------	---

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	年度初めなど、新しく自転車を利用する人が多い時期に放置自転車が多く見受けられる傾向があるため、特に重点的に啓発活動を実施する。 大学生など社会環境が変化する年齢層に対し、自転車の適正な利用、駐輪に関する周知を、教育機関や整備センターと共同して実施する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	区画整理等により住環境が変化し、自転車利用人口が増加する可能性がある。将来の居住人口や駐輪場需要を予測し、駐輪場再整備の必要性等について自転車駐車場整備センターと適宜協議し、柔軟に対応できるようにする。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

# 中施策評価書

作成日 令和07年 7月 2日

中施策事業名	災害対策事業	部課名	市民生活部・防災防犯対策課
		作成者	中野 忠之

①めざすまちの姿	18 災害時に行政と民間、地域、近隣市町村との連携がとれている
②大施策	災害時に行政と民間、地域、近隣市町村と連携する
③中施策	普段から各機関との連絡調整がとれる体制をつくる
④中施策事業の対象	近隣自治体、遠方自治体、民間企業
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	平時から情報交換等により顔の見える関係を構築し、災害時に迅速な対応ができる関係となっている
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・災害対策本部、非常配備 　・避難所 　・防災行政無線等機器 　・防災資機材 　・地域防災計画 　・防災会議、地域防災対策推進会議 　・国庫、県費の補助金(防災関係) ・国民保護計画 　・災害時要援護者支援、ボランティアセンター 　・防災協定

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
締結した災害協定数(年間)	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	3	3	3	3	0	0
	実績値	3	7				
単位	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

## ■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費(a+b)			31,264千円	37,499千円	
人件費	a 事業費合計		31,264千円	37,499千円	37,432千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計			0千円	0千円	
② 補助金等(収入)			0千円	5,296千円	0千円
③ コスト(①-②)			31,264千円	32,203千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			454円	468円	

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	<input type="radio"/>	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	<input type="radio"/>	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	<input type="radio"/>	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	<input type="radio"/>	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	<input type="radio"/>	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	<input type="radio"/>	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	<input type="triangle"/>	B

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	総合評価A  評価指標については目標を達成することができたが、まちづくり指標「災害時に備えて行政・民間の情報共有ができる」と思う市民の割合については、目標達成ができないない。そのため、訓練や講話、既存のメールだけでなくSNS等を利用した多様な情報発信ツールを活用し、啓発を徹底していく必要がある。 コストについては、全国各地で発生する災害の教訓や訓練を通して発見された課題を元に避難所の生活環境改善を目的に導入資機材の見直しを行っており、昨年と比較し増加している。
-----------------------------	---

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	災害協定については、継続して新たなパートナーを探し、協力関係が築けるような活動を続けていく。また、有事を想定した協定であるため、協定締結先との連絡先の確認を継続していく。その上で、協定に基づいた訓練を実施し、協力関係を強めていく。MCA無線の運用終了に伴い、公共安全モバイルを利用した災害対策本部と地域とをつなぐ連絡体制を整えていく。		
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	現在協定を結んでいる企業、団体との情報伝達訓練等の訓練を実施していく。同報無線や移動系無線の代替手段として導入する公共安全モバイルシステムを使用した防災訓練を実施し、地域住民への啓発や防災意識の高揚を図っていく。その上で、洗い出された課題について検証し、次回の訓練に活用していく。また、古くなった資機材の見直しや更新していく。		
今後、改善・拡大する事業	事業名 Jアラート受信機の更新	内容、理由、時期等 現在運用している受信機は導入から5年以上が経過し、老朽化しているため更新する必要がある。	
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称) 避難所運営委員会設置事業	内容、理由、時期等 現在2か所で設置されている避難所運営委員会について、今後他の学校区でも設置していく必要がある。	
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等	

# 中施策評価書

作成日 令和07年 4月 23日

中施策事業名	消防水利設置・維持管理事業	部課名	市民生活部・防災防犯対策課
		作成者	中野 忠之

①めざすまちの姿	18 災害時に行政と民間、地域、近隣市町村との連携がとれている
②大施策	災害時に行政と民間、地域、近隣市町村と連携する
③中施策	普段から各機関との連絡調整がとれる体制をつくる
④中施策事業の対象	市内の市街地及びこれに類する地域
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	耐震性を有する防火水槽が整備されている
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立上り消火栓に関するこ</li> <li>・防火水槽の設置及び改修に関するこ</li> <li>・国庫補助金及び県費補助金に関するこ</li> </ul>

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況								
耐震性防火水槽整備数		事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
		目標値	80	80	80	0	0	0
単位 基		実績値	80	80				
		事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
		目標値	0	0	0	0	0	0
単位		実績値	0	0				

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

## ■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費(a+b)			5,739千円	11,041千円	
人件費	a 事業費合計		5,739千円	11,041千円	5,348千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計			0千円	0千円	
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			5,739千円	11,041千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			83円	160円	

## ■評価

評価項目	内容	評価結果	
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	<input type="radio"/>
	大施策に貢献していますか	貢献できた	<input type="radio"/>
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	<input type="radio"/>
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	<input type="radio"/>
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	<input type="radio"/>
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	<input type="radio"/>
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	<input type="radio"/>

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	総合評価A 災害に備え、有効に水利が使用できるように、老朽化した水利の改修を行った。
-----------------------------	---

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	大規模な工業開発や住宅開発地への消防水利の設置に対応していく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	今後は令和8年度に新たに1基耐震性貯水槽を設置予定である。 また、防火水槽については、耐震基準、消防水利の基準を満たしていない古いものに対し、改修等の対応をしていく必要がある。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

# 中施策評価書

作成日 令和07年 7月 17日

中施策事業名	消防団運営事業	部課名	市民生活部・防災防犯対策課
		作成者	中野 忠之

①めざすまちの姿	18 災害時に行政と民間、地域、近隣市町村との連携がとれている
②大施策	災害時に行政と民間、地域、近隣市町村と連携する
③中施策	普段から各機関との連絡調整がとれる体制をつくる
④中施策事業の対象	消防団員・区、町内会・関係団体
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	地域の中心となり、地域住民と相互に連携協力し、活動を行っている
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・消防団員の退職報償金に関すること ・消防団員等の公務災害補償に関すること ・消防団式典に関すること ・消防団の各種行事に関すること ・消防団に対する警備依 頼に関すること ・消防団交付金に関すること ・消防団の組織運営に関すること

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
消防団活動回数(年間)		事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
		目標値	820	820	820	0	0
		実績値	557	447			
単位		事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
		目標値	0	0	0	0	0
		実績値	0	0			
単位	回						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

## ■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費(a+b)			31,659千円	36,157千円	
人 件 費	a 事業費合計		31,659千円	36,157千円	35,712千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計			0千円	0千円	
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			31,659千円	36,157千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			460円	525円	

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<b>総合評価B</b> 令和6年度は市操法大会、県操法大会等の行事をはじめ、令和6年度からの試みとして団員確保に向けたPR活動を行うなど、消防団員の能力向上だけでなく、充実した啓発活動も行うことができた。 また、尾三消防組合の協力のもと、分団車両の積載資機材の取扱い訓練をはじめ、実災害を想定した訓練を実施するなど、活動回数は前年度より減少したものの、消防団員の災害対応能力向上させる訓練を行うことができた。
-----------------------------	---

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	令和7年度は従来の操法訓練から転換した、実災害を想定した訓練を実施する等の訓練を行い、消防団員のさらなる災害対応能力向上を図る取り組みを実施する。 また、消防団員の確保に向けたPR活動を引き続き実施するとともに、入団手続きをスムーズに行えるようフロー表を作成する。 また、消防団の機能を充実させるため、機能別消防団創設を図っていく。		
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	災害対応能力向上のため、導入した省力化資器材を有効に活用できるように訓練を実施していく。 また、災害対応だけでなく、地域の防災訓練等も消防団主導で指導、講習が実施できるようにする必要がある。		
今後、改善・拡大する事業	事業名 災害対応能力向上事業	内容、理由、時期等	消防団の災害対応能力を向上させる必要があるため、さらに救助資器材等を増強して、訓練を実施する。
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称) 機能別消防団創設事業	内容、理由、時期等	大規模災害対応をより強固にするため、機能別消防団創設を図る。
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等	

# 中施策評価書

作成日 令和07年 4月 23日

中施策事業名	女性防火クラブ事務	部課名	市民生活部・防災防犯対策課
		作成者	中野 忠之

①めざすまちの姿	19 防災を行政任せにせず、普段から家庭と地域の準備と連携が十分できており、災害時には助け合うことができる
②大施策	災害に備え、家庭と地域の準備と連携ができ、災害時には自発的に助け合えるよう支援する
③中施策	災害に備えて家庭での準備を促す
④中施策事業の対象	女性防火クラブ員
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	クラブ活動を通じ、家庭や地域からの火災を予防する
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性防火クラブの指導育成に関するこ</li> <li>・女性防火クラブ交付金事務に関するこ</li> <li>・女性防火クラブ半日体験に関するこ</li> <li>・女性防火クラブ研修に関するこ</li> </ul>

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
女性防火クラブ行事参加人数(年間)	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	300	300	300	0	0	0
	実績値	124	130				
単位 人	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

## ■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費(a+b)			939千円	907千円	
a 事業費合計			939千円	907千円	907千円
人件費	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計			0千円	0千円	
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			939千円	907千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			14円	13円	

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<b>総合評価B</b> 令和6年度は、尾三消防本部豊明消防署と合同で火災予防の街頭広報を実施するとともに、同消防署の協力を得てクラブ員の火災予防知識の向上を図るための研修会を実施した。支部及びクラブ員の減少が進んでおり、防火クラブの存在意義が希薄になってきているため、今後の事業内容の見直しをする必要がある。
-----------------------------	--

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	一部の地域から、防火クラブが負担になっているとの声もあり、防火クラブの在り方について見直す必要があるため、役員を含めた協議をしていく。		
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	女性防火クラブの存在を広く地域へ周知するとともに、事業内容及び活動内容を検討する。		
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等	
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等	
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等	

# 中施策評価書

作成日 令和07年 7月 17日

中施策事業名	防災啓発事業	部課名	市民生活部・防災防犯対策課
		作成者	中野 忠之

①めざすまちの姿	19 防災を行政任せにせず、普段から家庭と地域の準備と連携が十分できており、災害時には助け合うことができる
②大施策	災害に備え、家庭と地域の準備と連携ができ、災害時には自発的に助け合えるよう支援する
③中施策	災害に備え家庭と地域の連携を促し、災害時の助け合いの意識を向上させる
④中施策事業の対象	市民
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	災害時に地域を通してスムーズな連絡調整を行うことができ、消火活動や救出活動を迅速に行うことができる状態である
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・防災訓練 　・防災啓発 　・自主防災組織連合会 　・安心安全情報共有システム 　・地区で開催される防災訓練 　・講話

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
地域で実施した防災訓練の数(年間)	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	46	46	46	46	0	0
家庭で防災対策をしている市民の割合(備蓄、避難所の確認など)※	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	73.5	75.4	77.4	0	0	0
単位 数	実績値	57.9	69.1				
	%						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

## ■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費(a+b)			7,957千円	7,448千円	
人 件 費	a 事業費合計		7,957千円	7,448千円	7,424千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計			0千円	0千円	
② 補助金等(収入)			0千円	1,915千円	0千円
③ コスト(①-②)			7,957千円	5,533千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			116円	80円	

## ■評価

評価項目	内容	評価結果	
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△
		B	A

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>総合評価B</p> <p>(指標1) 区長会や地域での積極的な啓発結果、目標を達成することができた。引き続き、啓発を行い地域において訓練をしていただくように活動していく。</p> <p>(指標2) 前年度に比較し、SNSでの発信やペット同行避難訓練の実施、個別避難計画の作成取組等実施し、家庭で防災対策をしている市民の割合は増加した。しかし、目標値に達していないため、継続して啓発していく必要がある。</p>
-----------------------------	---

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	区長会への議題提出や防災リーダー研修会などで、訓練の必要性を呼びかけ、各自主防災組織での訓練の実施を呼びかけていく。 また、協定企業と共同で防災イベントを開催することで、多世代への啓発を進めていく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	当市では、大きな災害発生から時間が経過しており、地域によっては防災意識が希薄化しているように思われる。また、若い世帯の訓練参加者が少ないため、防災啓発の方法の強化を図っていく必要がある。 災害時のトイレの運用については、導入予定のトイレカーを活用し、訓練やSNSで発信を行い、継続に啓発していく必要がある。	
今後、改善・拡大する事業	事業名 若い世代への啓発事業	内容、理由、時期等 若い世代を取り込むために、防災動画の作成や啓発の方法を強化していく必要がある。
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称) 南海トラフ大地震対策	内容、理由、時期等 南海トラフ大地震の被害想定が変更となつたため、防災マップ等改定する必要がある。
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等